

大川小学校いじめ防止基本方針

【学校教育目標】

あかるく かしく たくましい

大きな夢と思いやりの心を持ち、かしくたくましいわらべ（児童）を育成する。

【家庭・地域との連携】

- ・ 保護者
- ・ 家族
- ・ 民生委員
- ・ 学校評価委員
- ・ スクールリーダー

【生徒指導委員会】

学校におけるいじめの防止等に対する措置を実効的に行うため設置する。
校長、教頭、生徒指導係、養護教諭で構成し、必要に応じ、関係者及び外部専門家も入れて組織する。

【関係機関との連携】

- ・ 市教育委員会
- ・ ソーシャルワーカー
- ・ 心理や福祉の専門家
- ・ 警察署、駐在所
- ・ 校医などの専門医
- ・ 大川中学校

教育活動の重点

- ・ 月目標、共通実践事項の指導徹底
- ・ 「いじめ問題を考える週間」を各学期始めの3回実施する。全校朝会での説話、道徳または学級活動の授業をする。（保護者へ知らせ、公開、報告する。）にこにこ標語作成、本の読み聞かせ、ネットいじめを含む情報モラルの指導
- ・ 「いじめアンケート」学期に2回実施し共通理解を図る。（情報モラル調査も）

児童の主体的活動

- ・ 児童会の主体的なブレイフレンズ（昼休み全校遊び）実施
- ・ 縦割り班活動の充実（清掃・ボランティア・飼育当番・あいさつ運動など）
- ・ 行事や集会の充実
- ・ 学期末に学習面と生活面の自己評価
- ・ 教育相談の実施
学期2回木曜6校時

保護者の活動

- ・ 「心の教育の日」日曜参観で全校一斉に道徳授業を参観し、親子で感想や「一家庭一家訓」を紹介し合う。
- ・ 保護者と教育相談
7月、2月全員
- ・ 学級PTAでの話し合い（テーマ）
- ・ 親子レクリエーションの充実（親子製作・バーベキュー、十五夜、ウォーキング大会、もちつき）

【いじめの防止】

- ・ 教育活動全般において、いじめを絶対に許さない確固たる信念を持って、一人一人を大切にしたい分かる授業を目指し、自己有用感を高め自尊感情を育み、安心して過ごせる学校、学級づくりに努める。
- ・ 行事や縦割り班活動、児童会で学校生活を楽しくしようと話し合う活動において、学級、学校全体のことを考えて協力し互いを認め合える関係を築く。
- ・ 何でも話せる学級PTAの雰囲気を作り、できる限り学校行事やPTA行事に親子で参加して、子どもどうし、親どうしのコミュニケーションを深める。

【いじめの早期発見】

- ・ 子どもの様子に変化が見られたときは、職員や管理職に相談し、対処の仕方の共通理解を図り、職員全体で見守る態勢を作っておく。子どもの変化やいじめを見抜く目を養い、定期的な教育相談やいじめアンケートを併用する。
- ・ いじめアンケートに正直に答えたり、教育相談で話したりできる勇気をもって、何でも話せる先生や友だちを作り、楽しく学校生活を送る意欲をもつ。友だちの良いところ見つけやありがとうカードなど、友だちとの関係を良くするための取組を児童会や委員会話し合い、計画する。
- ・ 学級PTAや教育相談で何でも相談できる担任や親、学校との関係作りに努める。また、ふだんから子どもとのコミュニケーションを図り、子どもの変化に気付く目を持つ。

【いじめに対する措置】

- ・ いじめに気付いたとき、相談を受けたときは、その場で適切な処置をとるとともに、校長・教頭に報告し、いじめ防止対策委員会を開き、迅速な対応を検討する。情報収集を綿密に行い事実確認した上で、いじめを受けた子どもの安全確保と心のケアを最優先に考える。いじめている側の子どもに対しては、毅然とした態度で指導する。双方の保護者に事実関係を伝え、謝罪や助言を行い、連携して問題の解決にあたる。
- ・ いじめは絶対に許されないことであり、傍観者も加害者と同様であること、いじめ問題を自分たちの問題として受け止めさせ、真剣に自分たちの問題として主体的に対処させる。
- ・ 子どもがいじめを受けていると気付いたら、親としてどんな場合でも味方であり守り抜くことを子どもにわからせ安心させる。至急、担任や学校、必要に応じて関係機関に連絡し、事実確認を行い、適切な対処をするよう求める。

・ 生徒指導委員会（子どもを語る会）

全職員で月1回実施する。毎月の生活目標や共通実践事項の反省と学級の様子や学校全体の気になることを資料にまとめ、共通理解を図る。

・ 学担会

担任で火曜放課後実施する。行事や授業の打ち合わせと学級の子どもの情報交換、相談する。内容によっては、教頭、養護教諭も参加する。

・ 相談体制

いじめアンケートの結果について担任が分析する。気になることや知っておいてほしいことを全職員に共通理解を図る。

・ 職員研修

人権同和教育、特別支援教育、道徳など心の教育について、外部講師による研修をする。「いじめ対策連携」や「なくそう差別なく明るい社会」等の資料を活用する。

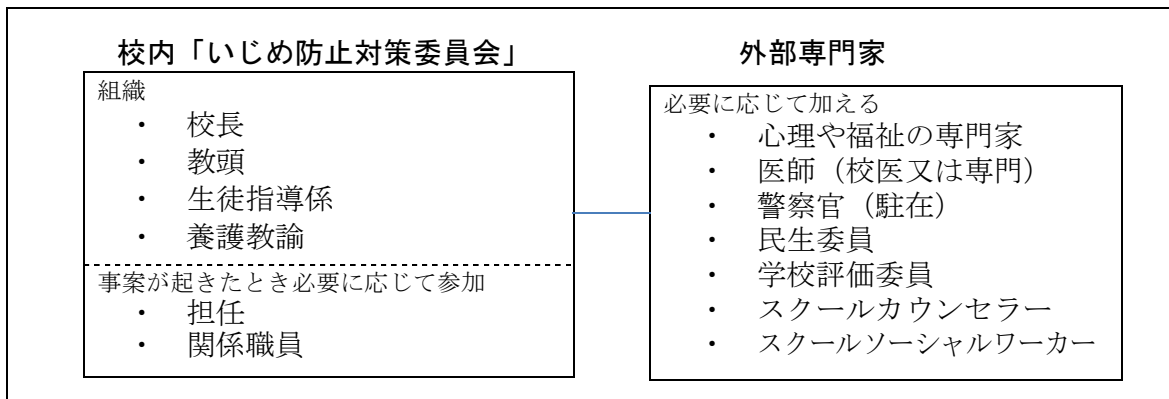
・ 関係機関との連携

必要に応じて、民生委員やSC、SSW等の心理・福祉の専門家との連携を図る。

いじめ防止対策年間計画

| 月 | 計画及び評価 | 実態把握 | 道徳・学級活動 | 児童会 | 情報モラル | 教育相談 | 職員研修 |
|----|--------------------------|------------------------------|-----------------|------------------------|------------|-----------------|---------------------|
| 4 | 年間計画の確認、いじめ問題を考え得る | 前年度アンケート確認(引き継ぎ) いじめアンケート | いじめ問題を考える週間(授業) | 一年生を迎える会 | | 家庭訪問 | 基本方針・組織の確認 |
| 5 | 取組評価アンケート作成 | | 心の教育の日(全道徳参観) | | | 児童教育相談 | |
| 6 | アンケート集約・取組検証実態に基づいた対応策検討 | 取組評価アンケート | ニコニコウィーク(人権学習) | | | 児童教育相談 | 人権同和教育 小中合同研修 |
| 7 | いじめアンケート集約・対応策検討 | いじめアンケート 児童自己評価反省 | | 水泳大会 | 携帯・ネット実態調査 | 全保護者面談 | 特別支援教育 |
| 8 | 携帯・ネット実態調査の集約・対応策検討 | | | | | 全保護者面談 | いじめ防止対策研修 小中合同研修 |
| 9 | いじめ問題を考える週間の反省 | いじめアンケート | いじめ問題を考える週間(授業) | 体育祭スローガン | | | |
| 10 | | | | 体育祭 | | 児童教育相談 | |
| 11 | アンケート集約・取組検証実態に基づいた対応策検討 | 取組評価アンケート | | 読書集会 いよいよ見つけ | | 児童教育相談 | |
| 12 | いじめアンケート集約・対応策検討 | いじめアンケート 児童自己評価反省 | ニコニコウィーク(人権学習) | 持久走大会 全校集会 | 携帯・ネット実態調査 | | 教育課程基本方針 |
| 1 | いじめ問題を考える週間の反省 | いじめアンケート | いじめ問題を考える週間(授業) | | 情報モラル指導 | | 小中合同研修 |
| 2 | アンケート集約・取組検証実態に基づいた対応策検討 | 取組評価アンケート | ニコニコウィーク | ありがとうカード いよいよさがしカード | | 児童教育相談 保護者面談 | 教育課程検討 |
| 3 | 年間を通じた取組の検証 次年度計画案作成 | 児童自己評価反省 いじめアンケート | | 6年生を送る会 | | | |

大川小学校いじめ防止対策委員会の組織図



いじめ問題が発生したとき

